

ぼす

雨和七瀬

ちよつと前まで世話をしていた猫が

あれよあれよという間にボスになったみたい
不服そうな顔をしている

ま、そんな顔もしたくなるよな

私は猫社会の事よく分かんないし

君をどう助ければいいのか分かんないよ

君にとって私がどう映っているか

私は障子破りの楽しさを共有する友達と思ってる

君はボス猫の座を降りた

入念な準備をするのが君らしいというか

穏やかな顔になったね

これからは隠居生活ですか

私は結局君のことをよく知らない
知らないままでいけない理由も知らない
君にとってここはどういう場所だったんだろう
私が答えを出すのは一年待たないと